

期待と夢

プライワタナ スピタ

人々はいつもいろいろな期待をします。期待は私たちの社会の人からされます。ある人はその期待を実現するためによくがんばっています。大切なものを忘れてしまいます。それは夢というものです。

多くの人は同時に期待されることと夢の持ち方がわかりません。もちろん、それはやさしくありませんが、むりではないと思います。たとえば、両親は私を医者にさせたいと思って期待していました。しかし、デザイナーになるのは私の本当の夢です。大学の入学しけんときに、医学部もびじゅつ学部もえらんでしけんをうけました。両方とも合格できました。さいごに、両親が私に「自由にえらんでしっがり勉強しなさい」と言いました。それで、私は日本でデザインを勉強することにしました。

私はかんぺきな人間ではありません。どん

なにがんばっても、できないこともたまに
あります。でも、他の人からの期待されること
がきらいだといういみではありません。人々
が私に期待するということは、私のことが気
になっているからだと思います。

期待されることと夢はどちらのほうがいい
が私はわかりません。「私が期待されること
を大切にしながら自分の夢の道を歩きたい」
これは、ここから一番言いたいことえでし
ょう。